



物流ニッポン

2008年(平成20年)

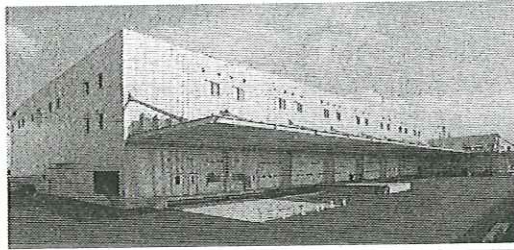
12 | 1 (月)

発行/月曜日・木曜日 第3183号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

あらた 千葉支店を本格稼働 高精度な出荷体制確立



【沢田頭嗣】化粧品・日用品の大手卸、あらたは十一月二十四日、関東地区では四か所目の大型物流拠点となる千葉支店(千葉県千葉市)を稼働させた。四月に開設した埼玉支店(埼玉県朝霞市)と並ぶ「都心型」を予定している。

「あらたグループは「次世代型卸商社」として流通全体最適化の実現を追求し、「地域密着型の全品の五大カテゴリーの充国ネット」を推進。化粧品を方針に掲げ、消費者品、トイレタリー、家庭用品、ペット用品、家庭用品、ベットの起点的売り場提案を強化している。

ンターに位置付け、千葉県、東京都の両エリアにおける配送体制を強化。船橋支店と千葉営業所の機能を統合した新拠点の完成に伴い、関東の物流ネットワークならびに全体最適物流が完成した。首都高速道の千鳥町イ

ンターチェンジまで五二階は事務所と食堂、三分、国道三五七号までは階にはバラフロアを配置は十一月二十四日、関東地区では四か所目の大型物流拠点となる千葉支店(千葉県千葉市)を稼働させた。四月に開設した埼玉支店(埼玉県朝霞市)と並ぶ「都心型」を予定している。

「あらたグループは「次世代型卸商社」として流通全体最適化の実現を追求し、「地域密着型の全品の五大カテゴリーの充国ネット」を推進。化粧品を方針に掲げ、消費者品、トイレタリー、家庭用品、ペット用品、家庭用品、ベットの起点的売り場提案を強化している。

求し、「地域密着型の全品の五大カテゴリーの充国ネット」を推進。化粧品を方針に掲げ、消費者品、トイレタリー、家庭用品、ペット用品、家庭用品、ベットの起点的売り場提案を強化している。